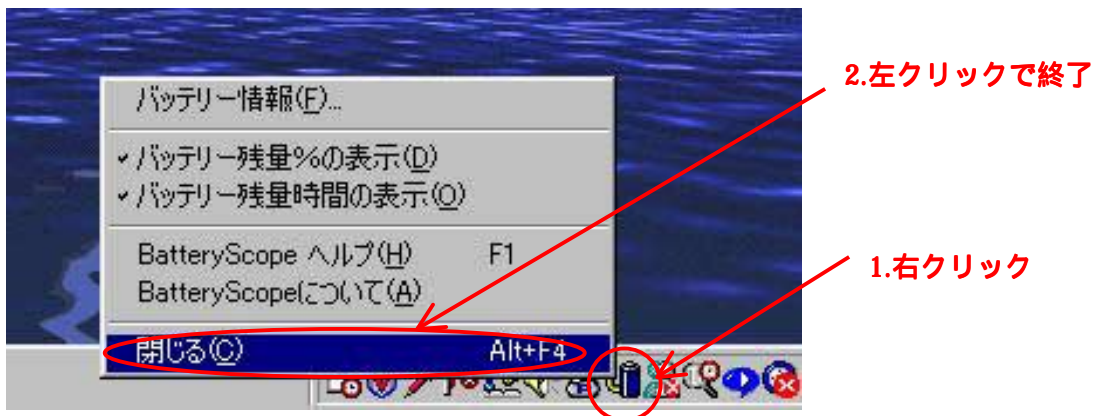


常駐ソフトを終了させるには

常駐ソフトについては、「システム リソースとは」の項でも少し触れましたが、システム設定のユーティリティや周辺機器のドライバーと言った Windows を起動するために必要不可欠なものと、我々が使用するアプリケーションソフトを快適に起動するための物があります。それらは Windows 起動時、自動的に起動して常駐します。これらの一部は、タスクバーの右下にアイコンの形で存在を示していますが、他は我々には姿があまり見えません。最近のパソコンは購入時に多くのアプリケーションがインストールされている為に、一度も使っていない物もたくさん有るはずですが、これらの中、前者は外す訳には行きませんが、後者はそのアプリケーションを使わないのであれば、外しても支障ありません。ここでは、これらの外し方と、別の機会の述べる「スキャンディスク」や「デフラグ」を行う際に一時的の常駐ソフトを外す方法について説明します。

1. タスクバーの右下にアイコン表示されている物を終了させる。

- アイコンを左クリックしメニューを表示する。



- [閉じる]または[終了]をクリックする。
- メニューの中に[[閉じる]または[終了]項目の無い物はこの方法では終了できません。

2. Windows 起動時、自動的に起動しない様にするには。

起動時に自動的に常駐するアプリケーションは通常 C ドライブ (Windows のあるドライブ) の [スタート メニュー] - [プログラム] - [スタートアップ] のフォルダー内にショートカットとして登録されています。このショートカットを削除すれば、次回からは起動しません。

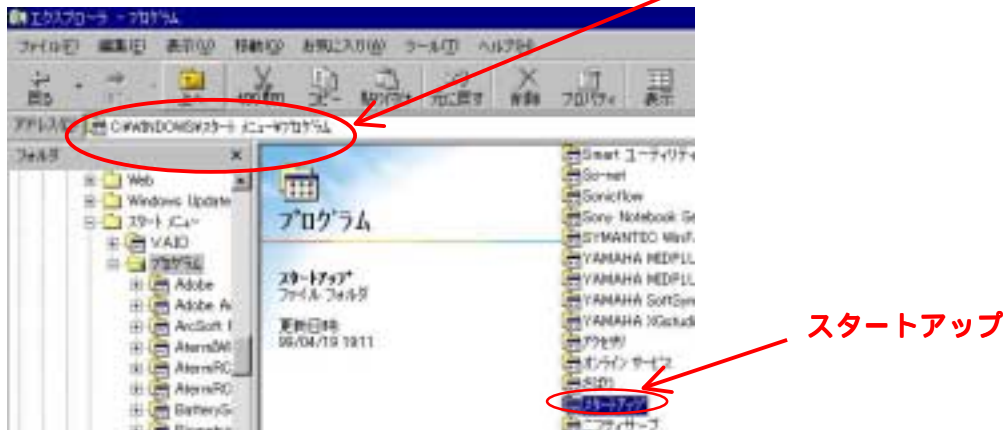
次に示す手順でふだん使わないアプリケーションのショートカットを削除します。

削除するのはあくまでもショートカットで、実際の物が削除されてしまう訳ではありませんので、必要な時には問題なく使用できます。

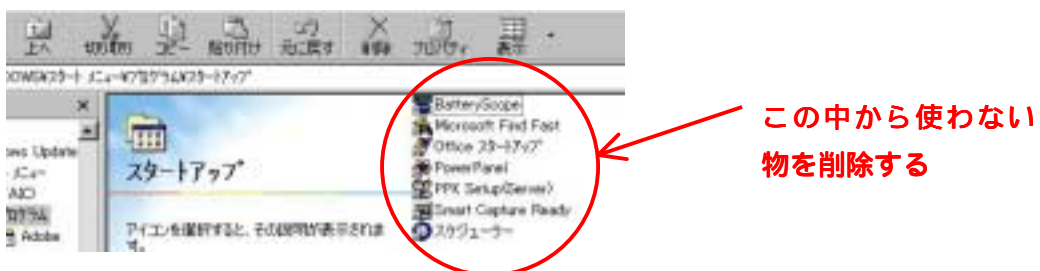
- スタートを右クリックし、表示されたメニューの中からエクスプローラ (E) をクリックする。



- ローカルデスク (C:) より [Windows] - [スタートメニュー] - [プログラム] のフォルダーを探す。



- さらにその中より [スタートアップ] のフォルダーを探してダブルクリックする。



- この中から使用しない物のショートカットを削除する。
- エクスプローラを終了する。
- 次回 Windows に同時には削除した物は常駐しません。

3. 常駐ソフトをすべて終了する。

別の機会に述べます。「スキャンディスク」や「デフラグ」を行う際、すべてのソフトを終了させる事が必要となる場合があります。

ただし、この操作は手動で行う必要があり、その中には Windows の実行に必要な物も含まれているために、注意が必要です。

しかし、それらを簡単に、かつ安全に行えるフリーソフトがありますので、ぜひ活用してください。

- [Kazuasa's HomePage](#)

<http://www3.plala.or.jp/kazuasa/index.html>

の AllKill というフリーソフトです。

[alkl0305.lzh](#)

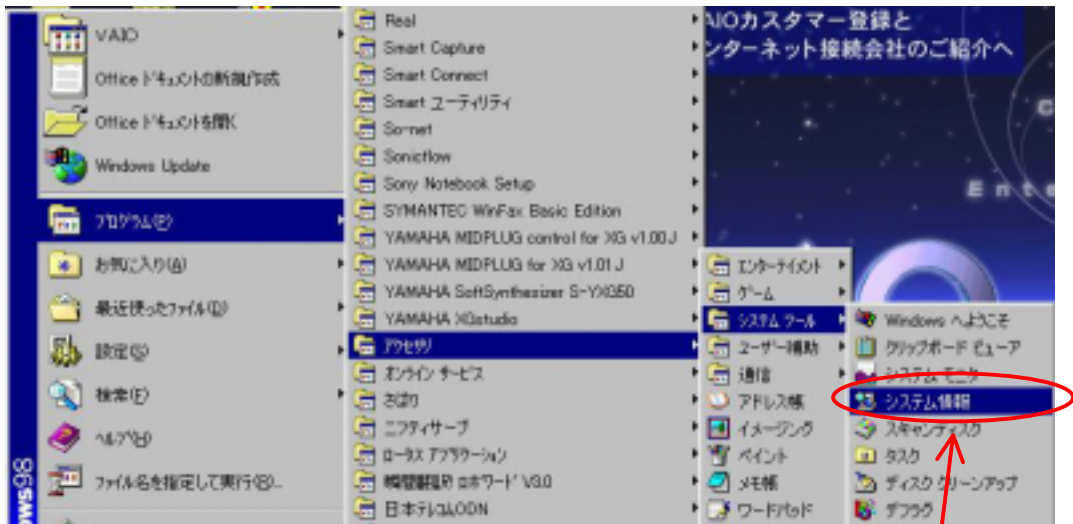
を適当なフォルダーにダウンロードします。

- 圧縮ファイルですので解凍が必要です。
- 解凍方法および AllKill の使用方法は別の機会に記します。

4. 手動で常駐を解除する。

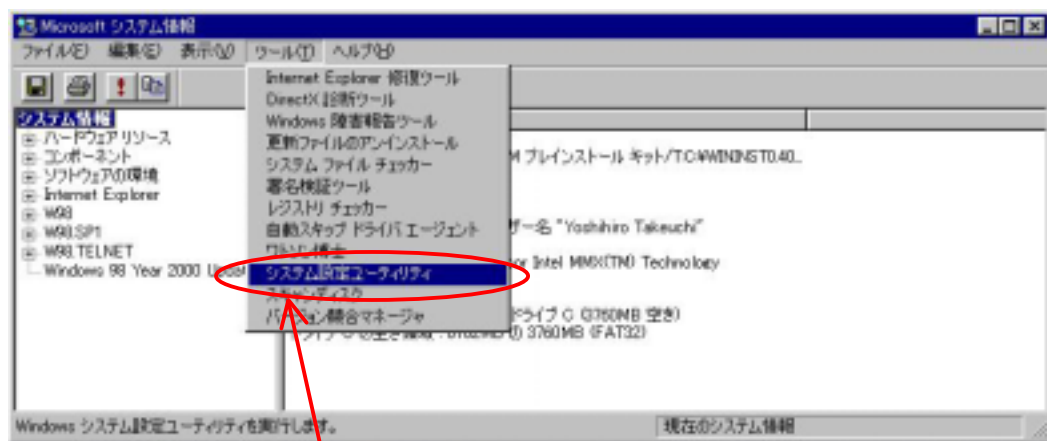
上記のソフトを利用すれば、ほとんど必要はありませんが、参考までに手動で起動時の常駐を解除する方法を記します。

- システム情報を起動する。



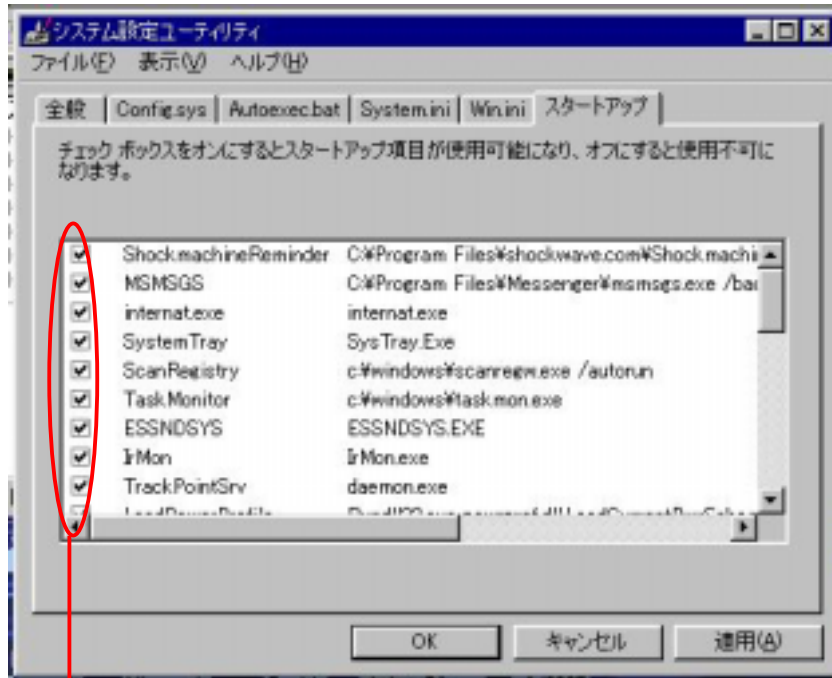
[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報]

- [システム情報]が起動したら
[ツール(T)]をクリックし、表示されたメニューより、[システム設定ユーティリティ]
をクリックします。

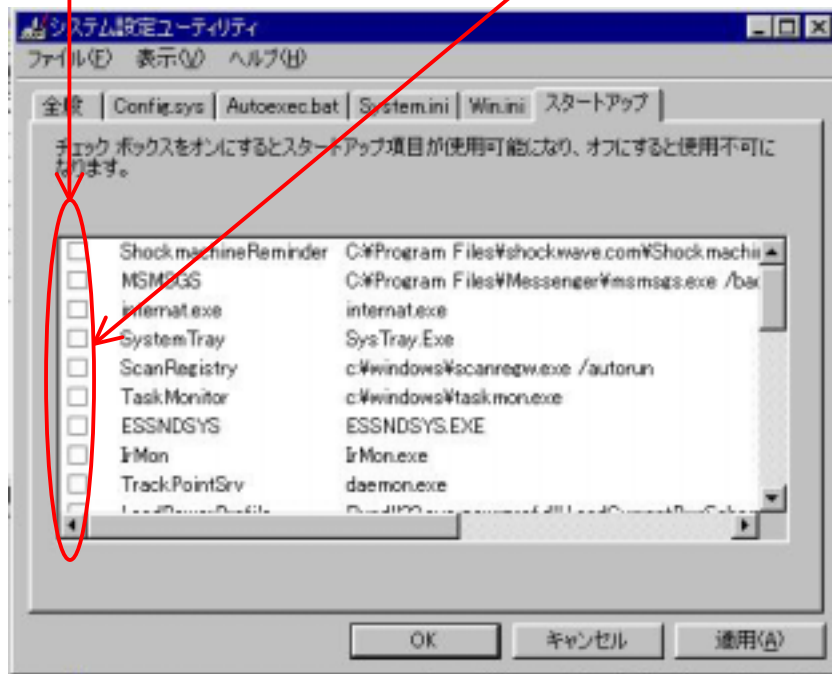


システム設定ユーティリティ

- [システム設定ユーティリティ]が開いたら、次回起動時に常駐させたくない物のチェックをはずす。



チェックをはずす



- Windows を再起動する。
- 常駐させる必要がある時には逆にチェックをして、再起動する。
- むやみに常駐をはずすと、Windows その他のアプリケーションが正常に動作場合もあるので注意して下さい。